



卒業生によるパネルディスカッションを実施しました！

令和8年3月24日(火)本校体育館にて、卒業生(71期)6名によるパネルディスカッションが行われました。大学受験や大学での研究、今の仕事、社会で求められる力などがどのように探究活動(SSH)と関わっているのかをお話していただきました。今回は79期と80期代表者に参考になったことや感想を聞きました。以下は卒業生のプロフィールです。

【卒業生(71期)】

- 安田 英郷さん(弁護士)
- 斎藤 遼太さん(国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 研究官)
- 喜安 千香さん(株式会社テレビ東京 人事部)
- 東條 結衣さん(日本メドトロニック株式会社 CRM 事業部)
- 酒匂 花子さん(経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会総務課 総括係)
- 瀧川 マリアさん(NTT ドコモ エンジニア)



❀先輩の話を聞いて感じた事❀



Principiaでの探究活動は、一見今後役に立たなそうなものでも、文系理系問わず大学での研究や、その後の職業に繋がられることを学びました。また、ChatGPTなどよく利用するAIツールとの関わり方や活用方法、今後の社会がそれらによってどのように変わってくるのかについて、卒業生の貴重なお話をお聞きし、自分自身も使い方を見直す必要があると感じました。この先社会で求められる力はAIを使える力で、それらを高校時代の探究活動で学んだとおっしゃっていたので、これからの探究活動を通して力を身に付け、今後のキャリア形成に活かしていきたいと思います。

79期1組 小川 碧優

卒業生の方々からお話を聞く貴重な機会を作っていただき、ありがとうございました。

僕はこの講演会を通して、横須賀高校でなぜPrincipiaという活動を行っているのか考えてみました。

卒業生の方々、みんなPrincipiaで培った仮説検証の考え方が今の仕事に役立っていると仰っていました。自身がどんな研究をしていたか具体的に思い出せなくてもその点が共通していることが興味深かったです。

自分達はPrincipiaを通して、社会に出てから重要になる「自ら仮説を立て、計画をもとに検証し、振り返る」というプロセスを練習しているのだと気づきました。

僕はこれから、Principiaに限らずあらゆる場面でこの考え方を大切に、日常生活の中から経験を重ねていけるよう努力していきたいです。

80期3組 三ツ堀 夏樹

